

2016年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気電子工学科					
科目名	地域社会と電気技術					
科目区分	教養教育科目	単位数	2	開講時期	後期	
必修・選択の別	選択科目					
担当者	牟田 浩司					
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講学生が、地域社会における電気技術の現状や問題点を説明できる能力を修得する。</li> <li>・受講学生が、発電システムの知識を修得する。</li> <li>・受講学生が、送配電システムの知識を修得する。</li> <li>・受講学生が、将来のエネルギーミックスや電力システムについて意見を述べる能力を修得する。</li> <li>・受講学生が、地域社会に根付いている代表的な電力技術の知識を修得する。</li> </ul> <p>この科目の修得は、本学科の定めるディプロマポリシー1,4の達成に関与している。</p>					
日程と内容	第1回 テーマ1 電気機器 第2回 テーマ1に対する課題演習 第3回 テーマ1の課題に対する講評及び小テスト 第4回 テーマ2 発電技術 第5回 テーマ2に関する課題演習 第6回 テーマ2の課題講評と小テスト 第7回 テーマ3 再生可能エネルギー 第9回 テーマ3の課題講評と小テスト 第10回 テーマ4 送配電 第11回 テーマ4に関する課題演習 第12回 テーマ4の課題講評と小テスト 第13回 テーマ5 環境浄化技術 第14回 テーマ5に関する課題演習 第15回 テーマ5の課題講評と小テスト 総合演習					
成績評価基準	定期試験		実技			
	臨時試験	50%	部外評価			
	報告書・レポート		プレゼンテーション			
	課題	40%	計	100%		
	演習	10%				
授業到達目標の達成度	今年からスタートした授業であり、地域社会を意識した内容ということで、1年生でも理解できる内容で生活に密着したテーマを厳選した。アクティブラーニングとして、課題を書籍やインターネット等で調べさせた。到達目標の80%は達成できたと自負している。					
反省点	受講者のほとんどが電気電子工学科であり、勉強になったとの意見を多数もらったが、電気を専門としない学生にはやや難解だったかもしれない。					
来年度の計画	授業内容の大きな変更は無いが、課題についてのプレゼンテーションを加えることを試みたい。					
授業評価アンケートに対するコメント	授業内容や授業方法には問題はないようだが、アクティブラーニングを取り入れたにも関わらず、やや一方的な授業になった感がある。来年度は学生の発表の機会を作りたい。					
履修登録者数	31名	定期試験 受験者数	29名	合格者数	27名	合格率 93%